

平成26年度当初予算知事査定ヒアリング資料

部局名:戦略企画部

順番	細事業名	事業費	ページ
1	インターネット情報提供推進事業費	15,041	1
	合 計	15,041	

平成26年度事業マネジメントシート（事務事業）

担当課 戦略企画部 広聴広報課

事業概要

細事業名	インターネット情報提供推進事業				区分	継続
	施策	行政運営 6 広聴広報の充実				
基本事業	40601	効果的な広聴広報機能の推進				
		目標項目		25年度実績値	27年度目標値	
		県のホームページ（トップページ）へのアクセス件数			178万件	
選択・集中 重点化施策						
根拠 (法令等)	三重県ホームページ運用管理要領					
	FTP 運用管理要領、情報提供システム（MACS）運用管理要領 三重県ドメイン運用管理要領					
予算額等	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	予算額		33,525千円	29,779千円	千円	
	決算額	25,698千円	33,308千円			
事業の目的	<p>県ウェブサイト（以下、「サイト」）を活用して、利用者の役に立つ県政情報をわかりやすく効率的かつ効果的に提供します。</p> <p>利用者に県政運営への興味や関心をより持っていただくため、知事会見や議会放送、その他県政運営に関する情報を、動画コンテンツで配信します。</p> <p>インターネットが持つ、利用者とのコミュニケーションを高める機能を活用し、県政に対して気軽にご意見等をいただくなど、利用者の県政への参画を進めるとともに、利用者との相互理解と信頼関係を深めながら、県政の質を高めていきます。</p>					
	事業目標	<p>（現行システムの運用）</p> <p>（1）利用者が、サイトを24時間、365日利用できるよう、ウェブサーバをはじめとしたシステム全般の安定稼働に努めます。</p> <p>（2）迅速で的確な情報発信を行うとともに、動画や利用者とのコミュニケーション機能を高めるコンテンツの掲載を促進し、県政運営への興味や関心を持っていただける利用者の増加を図ります。</p> <p>（3）高齢の方や障がいをお持ちの方を含め、誰もがアクセスしやすいサイトの運用に努めます。</p>				
<p>（サイトの再生）</p> <p>（1）サイトが抱えている問題点や課題の改善を図るとともに、サイトによる、戦略的な広聴広報活動を積極的に展開するため、現在策定中の広聴広報アクションプラン（仮称）及び平成25年度に策定したサイト再生計画に基づき、サイト活用のための業務プロセスや運用体制、人材育成、システムのあり方を抜本的に見直す「サイト再生」に取り組みます。</p>						

(2) サイト再生のうち、システムの見直しについては、平成 26 年度から 27 年度にかけて開発を行い、現行システムの保守が終了する平成 27 年度末には新システムに切り替えます。

前年度から
の変更点

サイトの再生に取り組みます。

サイトは、平成 8 年の公開以降、インターネットの進展とともに、モバイルや動画配信など、機能を拡充してきました。しかし、サイトの運用方針が明確でなく、場当たりのシステム整備を続けた結果、非効率な運用体制と品質低下を招き、本来あるべき利用者目線のサイトとはかい離れた状態となっています。

さらに、今後主要デバイスになると見込まれているスマートデバイスへの対応や、大規模災害時等の緊急対応、ウェブアクセシビリティへの対応など、機能面における整備も遅れています。

今後、県の広聴広報手段として、サイトの重要度がさらに増していくことが想定されることから、これらの改善は喫緊の課題であり、システム保守の切替のタイミングに合わせ抜本的かつ速やかに対応することが必要になっています。

また、今の自治体には、「人」や「企業」の誘致など“外”を意識した政策運営が不可欠であるとともに、政策や組織活動における県民の支持と信頼を得ることがますます重要な要素になっており、これら政策運営の展開にあたって、戦略的な広聴広報活動を行うためには、ウェブが重要な役割を担うことには疑いの余地がないところから、今回、サイトの再生に取り組むものです。

再生取組による、運用体制と人材育成の強化、システムの最適化により、業務プロセスが確立し、組織（職員）の広聴広報力が向上します。

それにより、利用者が求める情報を効果的かつ効率的に届けることが可能となり、利用者の県政運営に対する信頼性が向上します。また、組織の政策課題の解決に向け、“外”を意識したプロモーションやマーケティングを効果的に展開することができます。

事業の必要性と期待される効果

取組詳細

(現行システムの運用)

(1) ウェブシステムを構成しているサーバ群、及び各ページのコンテンツを自動作成するコンテンツ管理システム（以下、「CMS」）等の安定稼働を確保するため、これらの運用保守を行います。

(2) 県政情報に関する動画コンテンツを配信するシステムの安定稼働を確保するため、これらの運用保守を行います。

(サイトの再生)

(1) サイトの再生は、「利用者」「業務プロセス」「人材と変革」の 3 つの視点から取り組みます。

(2) 「人材と変革」のうち、システムの再構築については、平成 28 年度からの新ウェブシステム稼働に向け、平成 26 年度から 27 年度にかけて取り組みます。

取組概要

(現行システムの運用)

(1) インターネット情報提供推進事業 (ホームページ分)

ウェブシステムを構成しているサーバ群やCMS、及びウェブアクセシビリティ支援ソフトの安定稼働を確保するため、これらの運用保守を行います。

(2) インターネット情報提供推進事業費 (県政情報ライブ配信システム分)

県政情報に関する動画コンテンツを配信する各サーバ群、及び各動画コンテンツを「インターネット放送局」として提供するためにデータ管理するシステムの安定稼働を確保するため、これらの運用保守を行います。

(サイトの再生)

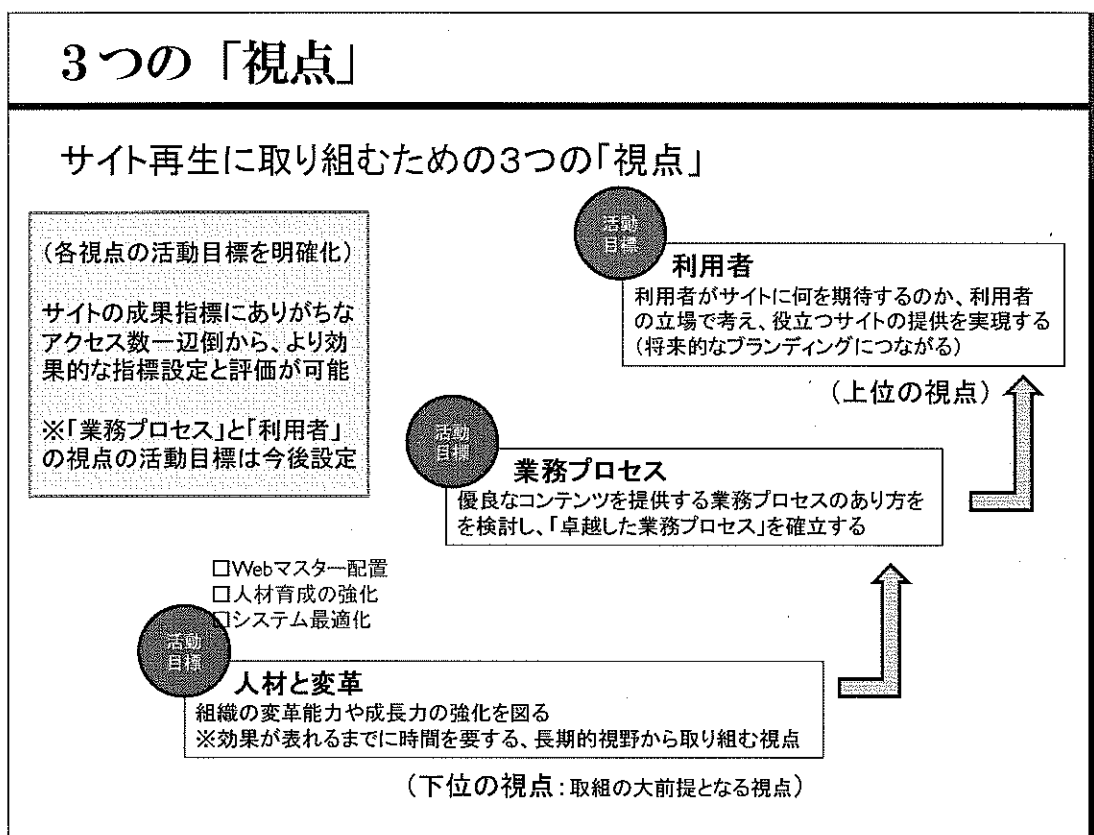
(1) インターネット情報提供推進事業費 (新ウェブシステム再構築) 15,041 千円 (15,032 千円)

平成 28 年度からの新ウェブシステム稼働に向け、平成 26 年度から 27 年度にかけて取り組みます。

※開発費及び運用費の全体額は (3) のとおり。

(2) 3つの視点

サイトの再生は次の3つの視点から取り組みます。



(3) ウェブシステムの再構築

①開発費および運用費 (単位: 千円)

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	計
開発費	12,732	57,642	0	0	0	0	0	70,374
運用費	0	0	18,436	18,436	18,436	18,436	18,436	92,180
計	12,732	57,642	18,436	18,436	18,436	18,436	18,436	162,554

※平成 26 年度予算要求額は、開発費 12,732 千円 + その他経費 2,309 千円 = 15,041 千円

②開発内容

- ・ CMS 統合 (現行の複数 CMS の機能を統合した CMS を構築)
- ・ スマートデバイス対応、大規模災害時の緊急対応
- ・ ウェブアクセシビリティ対応 (高齢者・障がい者のアクセスに配慮したサイト構築)
- ・ 動画配信システムの最適化 (インターネット放送局の改善)

平成25年度事業マネジメントシート（事務事業）

担当課 戦略企画部 広聴広報課

1 事業概要

細事業名 *	インターネット情報提供推進事業				区分	継続
	施策	行運6 広聴広報の充実				
基本事業	40601	効果的な広聴広報機能の推進				
	目標項目		24年度実績値	27年度目標値		
	県のホームページ（トップページ）へのアクセス件数		143万件	178万件		
選択・集中 重点化施策	緊1					
	重点					
根拠 (法令等)	三重県ホームページ運用管理要領 FTP運用管理要領、情報提供システム（MACS）運用管理要領 三重県ドメイン運用管理要領					
予算 額等	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	予算額 (千円)		33,525千円	29,779千円		
	決算額 (千円)	25,698千円	33,308千円			
事業の目的	<p>県ウェブサイトを活用して、利用者の役に立つ県政運営情報をわかりやすく提供します。そのため、ウェブサイトの構成やコンテンツの提供方法など、常に見直しを行いながら、効率的かつ効果的な情報提供を行います。</p> <p>また、利用者に県政運営への興味や関心をより持っていただくため、知事会見や議会放送、その他県政運営に関する情報を、動画コンテンツで配信します。</p> <p>さらに、インターネットが持つ、利用者とのコミュニケーションを高める機能を活用し、県政に対して気軽にご意見等をいただくなど、利用者の県政への参画を進めるとともに、利用者との相互理解と信頼関係を深めながら、県政の質を高めていきます。</p>					
事業目標	<p>(1) 利用者が、県ウェブサイトを利用できる時間を24時間、365日利用できるよう、ウェブサーバをはじめとしたシステム全般の安定稼働に努めます。</p> <p>(2) 迅速で的確な情報発信を行うとともに、動画や利用者とのコミュニケーション機能を活用し、県政運営への興味や関心を高めるコンテンツの掲載を促進し、県政運営への興味や関心を持っていただける利用者の増加を図ります。</p> <p>(3) 高齢の方や障がいをお持ちの方を含め、誰もがアクセスしやすいウェブサイトの運用に努めます。</p> <p>(4) 利用者にとって、県のウェブサイトはどのように活用していくのか、システム全体の運用保守やコンテンツの効率的な運用更新のあり方も含め、戦略的な視野に立った計画を策定し、次期再構築の準備を始めます。</p>					

<p>前年度からの変更点 事業の必要 性と期待さ れる効果</p>	<p>前年度まで IT 推進課が担当してシステムの運用管理業務を、県の広聴広報活動としてより効果的に進めるため、広聴広報課に一元化しました。</p> <p>私たちの日常生活にインターネットは根付き、ウェブサイトは、利用者の問題や課題を解決する重要な存在となりました。ウェブサイトを通して構築される利用者との関係性が、継続と循環によりさらに優良な関係性を構築するなど、ウェブサイトの持つ機能は、今や組織経営・組織運営において重要な手段に位置付けられています。</p> <p>県のウェブサイトも、利用者の問題や課題を解決するために役に立つものでなければなりません。それには、効率的で迅速な情報提供だけではなく、利用者の誰もが使いやすくわかりやすいウェブサイトを目指す必要があります。</p> <p>そのような、利用者の視点に立ったウェブサイトの運用を行っていくことで、利用者との優良な関係性を維持することができ、県政の質が向上することが期待されます。</p>
---	---

2 取組詳細

<p>取組概要 *</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブシステムを構成しているサーバ群、及び各ページのコンテンツを自動作成するコンテンツ管理システム等の安定稼働を確保するため、これらの運用保守を行います。 ・県政情報に関する動画コンテンツを配信するシステムの安定稼働を確保するため、これらの運用保守を行います。
<p>取組内容等</p>	

(1) インターネット情報提供推進事業（ホームページ分） 25,668 千円（16,668 千円）

ウェブシステムを構成しているサーバ群や各ページのコンテンツを自動作成するコンテンツ管理システム、及びウェブアクセシビリティ支援ソフトの安定稼働を確保するため、これらの運用保守を行います。

(2) インターネット情報提供推進事業費（県政情報ライブ配信システム分） 4,111 千円（4,111 千円）

県政情報に関する動画コンテンツを配信する各サーバ群、及び各動画コンテンツを「インターネット放送局」として提供するためにデータ管理するシステムの安定稼働を確保するため、これらの運用保守を行います。

(3) 県ウェブサイトの再構築

利便性やウェブアクセシビリティ（JIS 規格）の基準を満たし、利用者がより簡単に県政情報が入手できるように県ウェブサイトの再構築の準備を行います。

3 中間進捗情報

<p>成果と残された課題*</p>
<p>県ウェブサイトについては、本年度も安定稼働を続け、サービスの停止はありませんが、利便性やウェブアクセシビリティ（JIS 規格）の基準を満たし、利用者がより簡単に県政情報が入手できるようにする必要があります。</p>
<p>下半期（翌年度）に向けた改善のポイントと取組方向*</p>
<p>〔下半期〕</p> <p>現在、これからの県ウェブサイトのあり方について、組織戦略的な広聴広報の観点からの再生計画を策定中であり、これにあわせて次期再構築にかかる予算措置の準備を進めています。</p> <p>〔翌年度〕</p> <p>平成 28 年度から県ウェブサイトの新システム稼働に向け、再構築に取り組みます。</p>

4 年間実施結果

取組結果

成果と残された課題*

(1) 成果

(2) 課題

見直しの視点^{注1}

事業目的の妥当性 県関与の必要性 手段の有効性 手段の効率性 緊要性
該当なし

見直しの方向

廃止(廃止) 廃止(民営化) 廃止(国へ移譲) 廃止(市町へ移譲) 廃止(休止)
見直し・縮小(要改善) 統合化(要改善) 終期設定(要改善) 現行通り 拡充

民間活力の活用^{注2}

人材派遣 委託 PFI等 指定管理者制度 地方独立行政法人 現行通り

今後に向けた改善のポイントと取組方向*

(1) 見直しの視点・方向、民間活力の活用の判断理由

ウェブサイトの活用について、県としての明確な方針を定めることが必要であり、運用保守体制のあり方、システム全体のあり方、コンテンツの効率的な運用更新のあり方など、根本的な見直しが求められています。

(2) 課題への対応

MACS+の見直しと同時に、MACSや動画配信システムも含めて、ウェブシステム全体を見直し、平成28年度から利用者にとっても、更新業務を行う職員にとっても効果的なシステムを提供するため、ウェブシステム全体の再構築を平成26～27年度に実施します。

【注1】

①各事業を別紙「事務事業の見直しの視点」の5つの視点に基づいてチェックし、それぞれの視点から問題がないかを検証します。問題があると判断した場合は、「見直しの視点」に該当する項目に■を記入してください。(細々事業単位で方向性が異なる場合は複数選択可)

② 上記①の結果を踏まえ、別紙「事務事業見直しの判断基準」のどの観点から事業を見直すかを検証し、「見直しの方向」の該当する項目に■を記入します。(細々事業単位で方向性が異なる場合は複数選択可)

【注2】詳細は、別紙「三重県民間活力等活用指針(仮称)」を参照し、あてはまるものに■を記入します(重複可)